学園通信



2023 5 8 No. 1

*糠内学園:糠内中学校 • 糠内小学校 • 明倫小学校

2023年度糠内学園の第1回全体会・部会が4月12日(水)に開催されました。全体会で糠 内学園の経営方針・グランドデザインについて確認しました。

また、各校の重点についても説明がありました。今年度 も3校それぞれの特色を生かし、連携を取り合いながら進 めていきたいと思います。その後、各部会に分かれて事業 の具体化と年間事業計画の検討を行いました。



経営部会

経営会議(月1回)を開催し、学園経営方針の策定、 組織体制の整備、危機管理、乗り入れ授業等の企画調 整、広報(学園だより)作成等を行います。町教委

「学園学校経営の重点について」を踏まえながら検討 を行っていきます。今後の検討事項として、乗り入れ 授業を教育課程に位置づく授業としていくこと、総合 を中心とした一貫カリキュラム(発表参観)、CS事 業について、今後協議していきます。

経営部会のメンバー						
学園長	宗形 真恵(糠内中校長)					
	笠原 聡(糠内小校長)					
副学園長	小野田年克(明倫小校長)					
事務局長	羽石 浩之(糠内中教頭)					
古沙巴加巨	山田 征洋(糠内小教頭)					
事務局次長	畔上 美栄(明倫小教頭)					
広報・会計	中島めぐみ(糠内小事務)					
監査	島田二美子(明倫小事務)					

学ぶ力部会・・・・

≪共同研修≫学園グランドデザインから

- 教師がしゃべり過ぎない子ども主体の授業改善
- ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学び
- 糠内スタンダードの見直しと徹底指導
- 研究授業交流 について研修を進める。

具体的な活動

- chromebookに入れる学習アプリの精選
- ・職員研修としてICTを活用したものを企画
- 小中一貫カリキュラムの活用とまとめ
- 糠内スタンダードを見直し徹底指導
- 研究授業交流の実施

※2月くらいに予定している全体会で、各学校から 実践発表とまとめの発表を行う。

			「学ぶ	力」き	\$P\$	ンメン	バー	
	部	部長國木彩友美						糠小
	副部長		髙橋 将史					糠中
			竹内 亜希					明倫
			今井	大介	糠小	及川	夏子	糠中
:	部	員	宮村	皇史	糠小	竹田	千鶴	糠中
			國島真	製樹子	明倫			
	オブザーバ 畔上教頭(明倫小)							



〇総合学習交流

- ・ 糠内中「地域を創る」プレゼン発表
- ・糠内小「グリーンタイム」発表会
- 明倫小「ファーマー」発表会

〇他地域交流

・奄美大島と年2回(7月、1月)オンライン交流 7月は糠中のみで実施し、1月の交流は糠中と糠小・明倫小の5、6年児童が参加する。

○学級通信交流

5~12月までに月1回交流を行う。学級担任は google共有ドライブに公開し、学園教職員はコ メントを入力し情報共有する。

0

1				+ + "	フ 上 .	÷n ^				
	「つながる力」部会									
1	部	長	北岡 雅樹					糠中		
- 	副部長		植村 顕					明倫		
			茂古沼理絵					糠小		
	部	員	吉本江 石畠		糠小 明倫	吉田白戸夏	尚人 東洋子	糠中		
١										

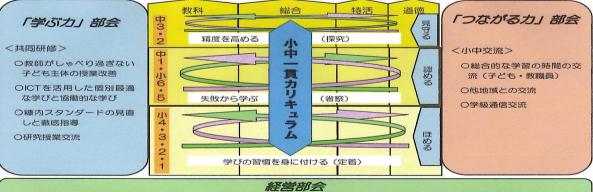
令和5年度 **植内学园グラシドラザイン**

- 学びに目的・価値を見出し、主体的に取り組む子ども
 - 指す15歳の姿 (〇 自分や身の回り、地域の幸せのために、自ら提案し、行動する子ども

地域文化の拠点として、地域の活性化に貢献する学園



重点課題:協働的に学ぶコミュニケーション能力の育成



学園経営方針等の検証、組織体制の整備、危機管理、CS事業の企画・調整、乗入授業(中学校の授業体験)等の企画・調整

 学校間連携
 保護者・地域との連携

 ・各種検定(漠検・数検・英検等) ・小中合同マラソン
 ・学校行事における連携
 ・安全バトロール

 ・小中合同運動会(緑小・緑中)
 ・特別支援コーディネータ連携(通年)
 ・子育て懇談会
 ・少年団、部活動指導等

 コロナの状況を踏まえ実施を検討
 コロナの状況を踏まえ実施を検討

コミュニティ・スクール

学園では、今年度「糠内学園グランドデザイン」を更新しました。令和4年度の糠内学園運営協議会において、子どもたちに身に付けて欲しい力・将来に向け子ども達に付けたい力・大人として支援できそうなことについて協議(熟議形式)しました。また、教職員も学園でのワークショップにおいて意見交換を行っています。その内容を盛り込みながら、実態に即した内容となるようにデザインしました。「目指す15歳の姿」と「重点課題」は、各校の教職員が共有している目標です。

9年間を見通して、全教職員が育成したい資質・能力を育むために現段階でどのような指導をするのか、各教科での学びの系統性を意識した授業づくりに取り組んでいきます。